

# 機能強化に向けた取組状況

## ～重点取組と業務見直し～

重点取組 その①

**「地域ケア個別会議」**を通じた  
地域で安心して暮らし続けられるネットワークづくり

重点取組 その②

**「自立支援地域ケア個別会議」**を通じた  
市全域における自立支援・重度化防止の浸透

## 重点取組 その①

# 「地域ケア個別会議」を通じた 地域で安心して暮らし続けられるネットワークづくり

### ◆ 地域ケア会議の定義

地域包括支援センターまたは市が主催し、設置・運営する「行政職員をはじめ、地域の関係者から構成される会議体」のこと。個別ケースの検討により共有された地域課題を地域づくりや政策形成に着実に結び付けていくことで、市が取り組む地域包括ケアシステムの構築の推進につなげる。

地域ケア会議には、①個別の事例について検討する「地域ケア個別会議」と、②個別事例の検討から明らかになった地域の課題への対応を検討する「地域ケア推進会議」がある。

### ◆ 会議の機能と体系図

支援機能の強化を目的とし、既存の支援のしくみでは解決できない場合

個別課題  
解決機能

ネットワーク  
構築機能

地域課題  
発見機能

地域づくり・  
資源開発機能

政策形成機能

## 地域ケア個別会議

### ① 地域ケア個別会議（包括主催）

<目的>

- A) 介護支援専門員の支援困難へのサポート
- B) 介護予防
- C) 支援拒否等への対応
- D) 地域課題・自立促進要因の把握
- E) 地域づくり

<想定される具体的なケース>

- ・支援者が困難を感じているケース
  - ・支援が自立を阻害していると考えられるケース
  - ・支援が必要だと判断されるがサービスにつながらないケース
  - ・権利擁護が必要なケース
  - ・地域課題に関するケース
- 等

② 自立支援地域ケア個別会議  
(R2：自立支援地域ケアカンファレンスに名称変更)

④ 草津市あんしんいきいきプラン委員会

地域ケア推進会議（小学校区）

③ 学区の医療福祉を考える  
会議

個別のケアマネジメント

## 重点取組 その①

# 「地域ケア個別会議」を通じた 地域で安心して暮らし続けられるネットワークづくり

### ◆ 課題

- 今後、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、重度の要介護者、認知症高齢者など支援を要する高齢者の増加が見込まれる中、高齢者を支える現役世代の減少や、地域の希薄化といった課題から、今ある制度・サービスやしくみだけでは高齢者の地域の暮らしを支えることが難しくなっている。
- 地域ケア個別会議を活用して、医療福祉の関係者の連携強化や、地域ネットワークの構築（見守り・声かけ・活動参加の促し）、不足する資源の把握と創出に取組む必要がある。
- 地域ケア個別会議について、基準が曖昧なため、包括により開催状況にバラつきが出ている。
- 地域ケア個別会議で出た課題のうち、市レベルで検討し解決をはかるしくみがない。

### ◆ 機能強化に向けた取組（令和元年度）

- 草津市地域ケア会議マニュアルの作成 地域ケア個別会議など各種会議の機能や位置づけを示した。
- 地域課題検討会議の開催（令和元年度：2回開催）  
地域ケア個別会議で抽出された課題が、地域課題として解決に向け検討されるように、課題の整理を行う。主に共助と公助の課題および対応について検討した。

### <対応事例の一部>

【課題】ADLや認知機能の低下により、買い物や受診等の移動手段に困る。

→市の交通政策の計画を知ったうえで検討を行うべく、勉強会を開催予定。

【課題】認知機能の低下等により成年後見制度の申立中（申立支援中～審判前）の高齢者の権利を守る手立てがない。

→法テラスへの相談・対応を実施した好事例を地域包括支援センター間で共有予定。

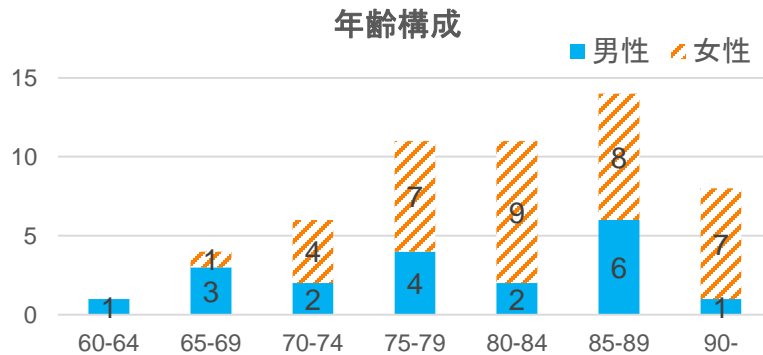
## 重点取組 その②

# 「自立支援地域ケア個別会議」を通じた 市全域における自立支援・重度化防止の浸透

### ◆ 令和元年度の実績【開催回数／件数】

○自立支援地域ケア個別会議：11回／55ケース

○評価会議（R1.10～）：5回／23ケース



身体面向上

意欲向上

ケアマネ力

地域力 家族力

- ・通所型サービスの利用が約7割、訪問型サービスの利用が約2割であった。
- ・整形疾患、循環器疾患をもつケース、認知機能低下に伴うケースは、専門職の見守りが求められ、相当サービスの利用に至る場合が多い。
- ・地域へのつながりに難しさがあり、利用の長期化に至りやすい。
- ・評価会議までの約6か月後の変化で見ると、約9割の人が意欲や地域とのつながりが維持・向上した。自立支援地域ケア会議での助言により、家族や地域への働きかけを含むケアマネジメント実践力の向上が図られ、本人の身体面や意欲の維持・向上につながったことがうかがえる。

### ◆ 自立支援地域ケア個別会議・評価会議から見えてきたこと

- ・徒歩圏内または広域的な受け入れが可能な交流の場
- ・担い手として再活躍できる場づくり（いきがい）
- ・地域とのつながり
- ・外出手段の確保

## 業務見直し

## 既存会議の統合・廃止

◆ 内容  
H30年度に包括の出席する会議の見直しを実施。可能な限り、他の会議との統合、市と各包括の共有システム（地域包括システム）の活用による情報共有や意見聴取等を行うことで、会議の削減を図った。

◆ 結果  
H30年度と比べ、包括が出席する会議の削減につながった。  
各包括からの意見では、業務負担の軽減につながっているとの意見がみられたが、「工夫や効率化によりさらに削減の余地があると思われる会議がある」「相談業務会議は支援の質の低下を防ぐためにも回数を増やすべき」との意見あり。

◆ 評価  
業務削減の成果はあった。包括のアンケート結果も踏まえ一部見直しを検討予定。

### 【会議開催数の実績】

	6包括平均（回）	前年度比
H30	84（81～89）	—
R1	45（37～60）	47%削減

【R1実績内訳】	令和元年度実績						令和2年度計画 1包括あたりの 参加予定数	備考
	高穂	草津	老上	玉川	松原	新堂		
地域包括支援センター運営協議会	1	1	1	1	1	1	2	R1:新型コロナウイルス感染症のため、第2回は中止。
圏域リーダー会議	11	11	11	10	11	11	10	
相談業務会議	1	1	1	1	1	1	1	必要時に開催
在宅歯科診療に関する協議会	-	-	-	-	-	-	1	R1:協議案件により行政のみ参加。（代表の1包括のみ参加）
湖南圏域病院・在宅連携検討会議	1	1	0	1	1	1	1	
民生委員児童委員研修交流会	4	3	1	3	3	2	2(3)	
ケアマネジャー連絡会	1	1	1	1	1	1	1	
主任介護支援専門員連絡会	3	3	3	3	3	3	3	
圏域ケアマネジャー交流会	3	6	3	4	2	3	2(3)	
介護予防ケアマネジメント業務会議	1	1	1	1	1	1	2	必要時に開催
地域課題検討会議	2	2	2	2	2	2	4	必要時に開催
学区の医療福祉を考える会議	5	3	3	2	12	3	4	
学区の医療福祉を考える会議（事前会議・反省会）	25	6	13	6	9	10	12	
認知症地域支援推進員会議	2	1	2	2	2	2	2	
	60	40	42	37	49	41	47(49)	

※包括が出席する会議のうち、回数のコントロールができない会議（個別ケース会議）、包括の参加が必須でないものを除く。